

事業番号	15 03 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	高等学校学びの支援事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課・高校再編推進室	
		実施期間	S27 ～	E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp	
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係						
政策の柱	誰もが主体的に学び続けられる社会をつくる					

1 現状と課題

・国内外の大きな社会変動による先行きの不透明な時代を生き抜くためには、自ら問題を発見し、答えを生み出し、新たな価値を創造していくための資質・能力が必要であるという背景のもと、学習指導要領改訂、高大接続改革により、高等学校教育の転換が求められている。また、全国的に少子化が進行しており、長野県においても同様の傾向が見られ、今後も長期的に子どもの減少は続く見通しである。

・授業や日常生活に支障のある帰国子女や外国籍の要支援生徒に対しては、専門性の高い知識を有した外部人材等による適切な支援が必要とされている。

2 事業目的

・長野県の高校教育として多様な学びの場と学びの仕組みを用意し、全ての高校がこれからの時代に必要とされる新たな学びに転換することによって、全ての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現を目指す。また、新たな学びを支える環境づくりを推進し、各校の規模や特色を生かして、活力の維持と学びの質の向上を図る。

・要支援生徒が在籍する高等学校において、校内相談、支援体制を構築・拡充し、授業や日常生活へのより速やかな適応を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①校舎等の施設整備

県立高校に通う生徒が安心して快適な学校生活を送ることができるよう、校舎等の老朽化対策やZEB化、トイレの環境改善、実習・実験設備の更新などの県立高校の施設整備を計画的に実施。

②高等学校の再編整備

「高校改革～夢に挑戦する学び～再編・整備計画」で決定した統合新校の目指す学校像や教育方針など、「新たな高校づくり」を地域と協働して推進するとともに、これからの時代にふさわしい学びや学習空間を学校や地域と共に検討し、「新しい学び」に対応した学校づくりを実施。

③支援が必要な生徒へのサポート

外国籍生徒や帰国子女、定時制・通信制課程の生徒、障がいのある生徒などの県立高校における授業や日常生活の面で支援を必要とする生徒に対し、安心して学べる環境を提供。

4 成果指標

(推移の凡例 ↑:改善 ↓:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	トイレの洋式化率	%	42.2	46.2	↑	50.8	↑	54.0	△	R8年度までの整備計画の中で各年度の様式化率を設定している	
②	指標なし								△		
③	日本語支援生徒のアンケート満足度「助かっている」の回答率	%	91.8	90.5	↓	92.0	↑	92.0	△	R4年度と同様の支援を行うため、前年度と同水準以上を目標とする	

5 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		19.2
	(要求)		1,182,913		1,182,913	235,481	
R4年度	2,448,041	706,961	0	3,155,002	1,425,026		19.2
R3年度	1,728,540	1,393,638	2,199,884	5,322,062	1,482,389	2,768,972	19.2

事業番号	15 03 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	高等学校学びの支援事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課・高校再編推進室

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	経常運営費		875,542 千円	256,527 千円	(予算案) (要求) 766,618 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県立高校学習環境改善事業	直接	トイレについて、和便器の洋式化、床の乾式化、衛生器具の更新等を実施 整備対象71部屋		
2	県立高校再編実施計画検討事業	直接	統合新校の目指す学校像や教育方針などを地域と協働し検討するための「新校再編実施計画懇話会」の開催 統合新校ごとの懇話会開催回数6回		
3	聴覚障がいのある生徒を支援する遠隔パソコン文字通訳システム活用事業	委託	聴覚障がいのある生徒の学びをサポートするため、遠隔パソコン文字通訳システムによる要約筆記を委託により実施 要約筆記352時間		
4	高等学校ZEB・デザイン基本計画策定事業	委託	県立高校の施設整備において学習空間デザインやZEB化を実現するため、基本計画策定の段階から専門家が関与する仕組みにより実施 計画策定対象4校		
5	感染流行下における学校教育活動体制整備事業	直接	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら教育活動を継続するため、消毒液等の保健衛生用品やサーキュレーター等の換気対策用備品を購入 全ての県立高校で実施		
6	学校と社会をつなぐ連携コーディネーター配置事業	直接	「共学共創」を通じて「新しい社会を創造する力」を育成するため、学校と社会をつなぐ連携コーディネーターを配置 連携コーディネーターの先行配置2校		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	高等学校理科教育設備・産業教育設備整備事業費		1,843,113 千円	285,325 千円	(予算案) (要求) 282,523 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	理科教育設備整備	直接	整備率向上のための設備整備、老朽化した設備の更新 整備対象46校		
2	産業教育設備整備	直接	設備の整備のための修繕、老朽化した設備の更新4品目（4校）、電子計算組織等のリース・運営・維持 設備更新4校		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
3	特色ある学科設置事業費		127,006 千円	115,939 千円	(予算案) (要求) 101,243 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	特色学科設置	直接	特色学科を運営するための外部講師の招聘、運営システムの導入、外部実習の実施等 設置数13校10学科		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
4	高等学校施設整備事業費	238,551 千円	11,201 千円	(予算案) (要求) 11,201 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	高等学校施設整備事業費	委託	非構造部材(天井、照明器具、内装、外装等)の耐震点検を委託により実施 実施校数14校	
2	県立学校施設整備基金積立	直接	利息の積立 積立額1千円	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
5	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	3,121 千円	3,127 千円	(予算案) (要求) 3,127 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業	直接	外国籍生徒や帰国子女の高校生活をサポートするための生活支援相談員を配置 配置延べ時間数1,030時間	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
6	定時制課程運営費	3,728 千円	3,654 千円	(予算案) (要求) 3,780 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	消耗品費、備品購入費	直接	定時制課程運営にかかる消耗品の購入及び設備整備 整備対象2校	
2	定時制課程教科書購入費補助事業	直接	夜間定時制課程に修学している生徒を支援するため、対象となる生徒に対し、教科書購入費を補助 補助対象16校	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
7	通信教育運営費	1,384 千円	1,361 千円	(予算案) (要求) 1,185 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	通信制生徒子弟託児事業	直接	通信制課程の生徒がスクーリングに出席できるよう託児所を開設 保育士の配置2校4名分	
2	通信制課程教科書購入費補助事業	直接	通信制課程に在籍する生徒のうち、一定の要件を満たす生徒へ教科書等購入費を補助 補助対象2校	